

## 説教ワンポイント

### キリストの愛の深さ

エフェソ三・一四～二

エフェソ書に「キリストの愛の広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるか」と、尺度を用いた独特の表現がでてきます。最初聞いたとき、愛の広さ、長さって何？ と不思議でした。

でも、旧約聖書ノアの箱舟の話を読んだとき、少し合点がきました。神さまが人間や生き物を救うためノアに箱舟建造を命じる際、造る舟の「広さ、長さ、高さ」をそれぞれ細かく指示しているのです。もう一つ、歴代誌下でイスラエル王ソロモンが神の宮である神殿を建造する物語の中でも、神殿の「広さ、長さ、高さ」の寸法が細かく指示されています。神殿や箱舟とは、どちらも神の愛がとどまる器のこと。神の器にとって大切なのは、荘厳さや威厳、あるいは

は色や飾りの壮麗さといった外観ではなく、神さまの言葉に従って建てられているかどうか、この一点。だから、寸法という形で明確に器の造り方が伝えられている。

その一方で、神の言葉の大切さを知りながら、背いてばかりでなかなか従えない、私たちでも大丈夫。そんな私たちの弱さを知っているから、今日、エフェソ書は「広さ、長さ、高さ」に加えてもう一つ、愛の尺度があることを伝えられているのです。それは、深さ。

「愛の深さ」とは？ 神から離れゆく私たちを捕えて、もう一度神の方へ引き戻し、救ってくださるイエスさまの思いの深さ。この深さがあるから、私たちは、今日もこうして神の前に進みでることができました。ご自身、大工だったイエスさまだから、神の建物である私たちを建ててののに、どれほど「深さ」が必要か、よくご存知でおられたのでしょうか。